

Letter

遠隔医療における規制はどこまで必要なのか

木下翔太郎（慶應義塾大学医学部）

遠隔医療は、検査などの情報収集が難しいことなどから、初診からの実施については困難とする見方が多い¹⁾。一方で、採血や画像検査から得られる情報が少ない精神科領域は遠隔医療と親和性が高く、急性期であっても遠隔医療の治療効果は対面診療と同等であるとする研究なども報告されている²⁾。このように、診療科や患者の状況によっては、初診においても遠隔医療を活用する余地が十分にあると考えられる。

我が国では、コロナ禍における規制緩和によって遠隔医療での初診が解禁されたが、初診での向精神薬の処方禁止とされ³⁾、その制限は今後も継続される見込みである⁴⁾。これは、向精神薬を頻用する精神科領域の初診が事実上大きく制限されていることを意味する。筆者らは17の国と地域の遠隔医療の規制動向を比較する研究を行ったが、初診で向精神薬全般の処方を一律に禁じている我が国の規制は厳しい部類であった⁵⁾。行政側は、こうした規制を設けた理由として、遠隔医療では「患者のなりすましや虚偽の申告による濫用・転売の防止が困難である」と説明している³⁾。

そもそも、患者のなりすましや虚偽の申告を見抜くことができない、という点は対面診療も含めた我が国の医療における構造的な問題である。患者はフリーアクセスの原則から紹介状の持参なしに医療機関を受診することができ、お薬手帳の所持も義務とはなっていない。そのため、外来の場

で、医師が初診の患者の処方歴などを把握しようとする際に、患者の申告以外の判断材料がないという状況は日常茶飯事である。しかし、このような問題は万国共通のものではなく、諸外国では、「電子健康記録」(Electronic Health Record : EHR)による医療情報の標準化が進み、処方歴などの情報を、医療機関同士でタイムリーに共有し合う仕組みが進んでいる⁶⁾。我が国では、地域単位のもの除いて、このような仕組みは整備されてこなかったが、2021年10月より、マイナンバーカードを提示した患者の処方歴などが確認できるオンライン資格確認等システムが全国で導入開始となり、徐々に使われ始めている⁷⁾。将来的にこのような仕組みが普及し、遠隔医療でも活用できるようになれば、初診患者の情報収集も容易となり、なりすましや虚偽の申告防止にも繋がると考えられる。このように、懸念されているリスクの減少した段階においては、現行の厳しい規制を見直し、より適切な遠隔医療の普及に繋げていくことが望ましいと考える。

参考文献

- 1) 今井和樹. 2021. 「心身症の管理におけるオンライン診療の可能性と課題」 CBEL Report, 4(1): 58-63.
- 2) Salmoiraghi, Alberto, and Shahid Hussain. "A systematic review of the use of telepsychiatry in

- acute settings." *Journal of Psychiatric Practice* 21.5 (2015): 389-393.
- 3) 厚生労働省. 2020. 新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の 時限的・特例的な取扱いに関する Q&A について. <https://www.mhlw.go.jp/content/000627376.pdf> (Accessed March 12, 2022)
- 4) 厚生労働省. 2021. 資料 1-1 「オンライン診療の適切な実施に関する指針」 の見直しのポイントについて. <https://www.mhlw.go.jp/content/10803000/000859371.pdf> (Accessed March 12, 2022)
- 5) Shotaro Kinoshita, Kelley Cortright, Allison Crawford, Yuya Mizuno, Kazunari Yoshida, Donald Hilty, Daniel Guinart, John Torous, Christoph U. Correll, David J. Castle, Deyvis Rocha, Yuan Yang, Yu-tao Xiang, Pernille Kølbaek, David Dines, Mohammad ElShami, Prakhar Jain, Roy Kallivayalil, Marco Solmi, Angela Favaro, Nicola Veronese, Soraya Seedat, Sangho Shin, Gonzalo Salazar de Pablo, Chun-Hung Chang, Kuan-Pin Su, Hakan Karas, John M. Kane, Peter Yellowlees, Taishiro Kishimoto. 2020. Changes in telepsychiatry regulations during the COVID-19 pandemic: 17 countries and regions' approaches to an evolving healthcare landscape. *Psychological Medicine*, 1-8. [Epub ahead of print].
- 6) 厚生労働省. 2019. 諸外国における医療情報の標準化動向調査 報告書概要版. <https://www.mhlw.go.jp/content/10808000/000685914.pdf> (Accessed March 12, 2022)
- 7) 厚生労働省. 2021. オンライン資格確認等システムについて. <https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000860670.pdf> (Accessed March 12, 2022)
- (2021 年 12 月 5 日受理 / 2022 年 3 月 14 日採択)